

児童発達支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2025年 2月 28日

事業所名: 児童発達支援センター天使園

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	15	2	0	・教室以外にも遊戯室やホール、園庭等、様々な活動に合わせて設備を活用することができている。	40	0	0	1	・広い園庭・遊戯室があり子どもたちが活動するには十分なスペースは十分だと思う。 ・安全で良い環境だと思う。 ・教室が少し狭く感じる。	・活動内容に合わせて、環境設定や職員配置などを工夫しています。また、園庭や遊戯室、ホールなどを活動に合わせて使い分けて使用しています。	
	2 職員の適切な配置	5	6	6	・複合施設という特徴を活かして各部署で連携が取れている。部署ごとに児童の利用時間が異なるため、その間は他部署のサポートをおこなっています。	29	9	1	2	・一般の幼稚園や保育所と比べても見てくれる職員の人数が多いので助かっている。 ・日によって職員の人数が少ないと感じるときがある。休みや休憩の際は他クラスの先生が応援に来てくれているみたいだが、あと1人でもクラスに職員が増えるといい。 ・昨年度末からの新規事業開設に伴い、職員の減少の影響を随所に感じる。水分管理が不十分だったり、伝達がしつかりなされていないことがある。また職員数も本来の職員数に戻ったのかが分からない。	・複合型施設であるため、他部署と協力体制を取りながら配置・運営を行っています。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	14	3	0	・子どもたちに分かりやすい形で視覚支援を取り入れた環境設定、支援ができている。 ・スロープや手すりなどバリアフリーの観点も踏まえた環境が作られている。	39	1	0	1	・パーテーションで目移りがしにくく、集中力が上がったように思う。 ・視覚的にも分かりやすく写真やカードを使用したり、掲示してあったり子どもにとって分かりやすい環境だと思う。 ・玄関のドアの蝶番に指が挟まらないか心配である。	・必要に応じて、視覚支援等のツールを活用し、子どもにとっても分かりやすい環境の設定に努めています。 ・園内のドアや扉は基本的に常時施錠されているため、ドアの開閉は職員が行っており安全面には注意をしています。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	15	2	0	・教室や備品等のこまめな消毒などが心がけることができている。	38	1	1	1	・園庭や玄関も綺麗に手入れされており、園内も子どもに分かりやすい視覚支援が行われていると思う。 ・清潔に関しては人それぞれの感覚が違うと思うため分からない。 ・園では素足で過ごしており、帰宅後に足裏が汚れているため床が清潔ではない可能性があると思っている。	・園内は毎日必ず清掃は行っています。子どもが活動していること、出入りが激しい空間であるため多少の汚れが出ることはご理解いただけますと幸いです。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	15	2	0	・クラス内の情報はもちろん、職員会で他クラスの児童についての情報や支援の内容の統一化を図っています。							
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	13	3	1								・今年度より第三者評価を実施しており、年度内に公表します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	16	1	0								・園内外の研修に参加しスキルアップの機会を設けている。研修の内容は毎月の職員会にて報告を行い、全体の質の向上を図っています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	14	1	1	・ガイドライン、5領域に基づいてバランスよく最近接領域から見たプログラムの作成を行っている。	38	1	0	2	・定期的に、子どもに合わせたプログラムのコピーをいただいて助かる。 ・支援内容についてよくお話をしてくれている。	・支援プログラムについては、年度初めの保護者総会にて説明を行っています。
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	16	1	0		40	1	0	0	・子供の成長や特性に合わせて計画を立ててくれていると思う。保護者の意見も取り入れてくれて、一緒に子どものことを考えてくれている。 ・子どもが自分の思いをはっきり伝えられないため、親のニーズが強くなってしまっているところがある。 ・なかなか課題が達成できず、毎回ほぼ同じ内容になっている。	・アセスメントをおこない、児童発達ガイドライン・保育所保育指針・ポーター等々を踏まえた目標立案を基本としています。 ・子どもの発達のペースは個人差があるため、達成度合いにもばらつきはあります。同じ目標が続く場合には支援の内容や目標自体を見直ししていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	17	0	0		40	1	0	0	・家族への支援もしっかり考えてくださっていて、連絡もこまめに取り合えるのでありがたい。 ・家族支援についてスタッフと相談する機会が少ない。	・支援計画作成にあたり、ポーター等早期教育プログラム、児童発達支援ガイドライン、保育所保育指針を支援目標に紐づけ、5領域ごとの目標や支援内容を記載しています。
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	17	0	0	・個別療育の中での支援内容、クラスの中での支援内容、また言語聴覚士から助言など、どの場面でも支援できる手立てを記載しています。						
	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	15	2	0	・発達支援計画、K式発達検査、ポーターチェックリスト等のツールを使用しながら子どもたちの行動や発達状況を分析し、クラス内で共通理解に努めている。	40	0	0	1	・できるようになるまでしっかり支援してくださっている。 ・支援していただいているが、なかなか目標を達成できない。	
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	14	3	0	・クラス活動、グループ活動ともにチームの職員で動を立案している。5領域に合わせて週の中でバランスよく活動のテーマを分けることで内容にある程度の変化をつけたり、支援記録の内容にも連続性を持たせることができる。						
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	14	3	0	・季節に応じた活動を多く取り入れながら、新鮮味のある活動を展開できるようにしている。	34	3	1	2	・色々なプログラムを計画してくださり、子どもが楽しめる活動が多いと思う。 ・新しい活動の試みや、保護者アンケート結果を行事に反映したりとよく考えてくださっている。 ・外遊びや季節に応じた行事をもっと増やしてほしい。	・現在はクラス・グループ活動に加え、昼食後も園庭遊びをしており、全クラス合同で遊ぶ機会も増えています。 ・行事に関しては季節の行事はもちろん、クラスの制作や運動などにも季節感を取り入れ様々な経験ができるようにしています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
適切な支援の提供 (続き)	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	17	0	0					
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	13	3	1	・活動に関しては、クラスの職員間で内容の検討して実施しているため共通理解のもと、支援を行うことができている。				
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	8	7	2	・毎日の振り返りはできていないのが現状であるが、適宜、クラス職員間で振り返りや情報共有は行っています。				
	11 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	15	2	0	・個別療育の様子や、保護者とのやり取りの内容、ガイドライン内の種別ごとの記載内容を定期的に記録に残しています。体調不良後の経過観察の様子、受診の結果等も記録に残しており、細かい伝達も可能な記録を心がけています。				
12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	17	0	0	・前期、後期終わりにモニタリングを行い、課題の達成度や次期の計画作成に役立てています。					

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	17	0	0	・児発管、担当職員が話し合いに参加できる体制を取っています。また、クラスリーダーなど情報を持つ職員の数を増やして様々な視点で話ができるようにしています。					
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	—	—	—	※該当なし					
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	—	—	—	※該当なし					
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	17	0	0	・交流保育においては、交流先の園と連絡を取り合いながら進めています。状況に合わせて職員が同行することもあります。 ・就学先への引継ぎにおいては、情報を正確に伝達し、地続きの支援ができるように引継ぎを行っています。					
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	16	1	0	・移行支援のための情報共有として児発管、担当職員より必要な情報を提供したり、園で使用しているツール等の見本を提示しながら、より具体的に伝達できるようにしています。					
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	16	1	0					・中核機能の役割の元、他機関を交えた連携や研修を実施しています。	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	15	2	0	33	4	1	3	・交流保育では初回の先生の引率があったり、初回以降も状況に合わせて同行してサポートしていただくなど助かっている。 ・交流保育は現在は短時間での交流のみだが、ゆくゆくは一日交流ができると良い。 ・今年度は地域の園と定期的な交流の場があり、良い経験になっている。 ・日常の中であまり交流があるようには見えない。	・今年度は天使園全体による近隣の幼稚園との交流は前期、後期ともに1回ずつ実施しています。 今年度より親子のつどいも復活しており、他園の児童と関わる機会もありましたが、地域とのつながりを構築しながら交流の機会を増やせるようにしていきます。 ・就学、就園予定の児童の交流保育の時間帯に関しては交流を重ねていながら児童の様子を見極め、交流園と相談して回数や時間を調整しています。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	13	1	3	・地域を巻き込んだ行事は近年、実施できていない現状にあるが、コロナがら類移行してからは行事の保護者参加人数の規制を緩めています。					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	16	1	0		38	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく説明があった。 ・利用する際もあったが、利用中にも質問をしたら丁寧に対応してくださっている。 ・外来利用からそのまま入園したため、さほど詳細ではなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前の時点での説明、入園後の保護者総会にて運営規定や支援内容について伝達する場を設けています。また、保護者の方からの質問には随時対応しています。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	17	0	0		41	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容について細かく説明してくださっている。 ・職員によって説明の丁寧さが異なる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画の内容を児童発達支援ガイドライン、保育所保育指針、ポーターズ等の情報と紐づけながら対面での説明を行っています。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	16	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一回のおはなし会での勉強会、ペアレントトレーニングやペアレントプログラムを実施しています。 	41	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・天使園では、家庭支援の一環として、ペアレントプログラムやペアレントトレーニングを行っています。今後も実施する際には、ご案内させていただきますので、是非ご参加ください。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	17	0	0		39	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・成長と一緒に喜んでくれたり、家では気づけない得意・不得意、変化などに気づいてくれている。 ・連絡帳や電話等で、どんな些細なことでも情報の伝達ができているように思う。 ・何かあれば電話をくださって、一つ一つを確認しながら支援内容をより子どもに合ったものに調整してくれている。 ・直接話す機会は少ないため連絡帳を活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに合った支援を園と家庭とで統一した支援ができるようにしています。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	17	0	0		38	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん相談に乗ってくれたり、家庭訪問もしていただいて助かっている。 ・連絡帳に書いた伝達内容をクラス担任や児発管さんなどを交えて話をいただき、対策できている。 ・面談の機会はもう少し多い方が良いと思う。個別のSTの枠が減った代わりとなる集団STでのフィードバックが保護者にはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談や連絡ノートの記載内容にはなるべく迅速に対応しています。必要に応じて、園長、児発管、相談員等が話し合いや対応の場に入り、施設全体で情報を共有しながら支援を行っています。また、必要に応じて随時、家庭訪問等を行い、保護者の困り感に寄り添っています。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	14	3	0		29	8	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントが多く、子どもも喜んで登園できている。 ・今年度は保護者同士が交流が持てる行事があり、良かった。きょうだいも参加できるイベントがあっても良い。 ・おはなし会が定期的にあるが、参加人数が少ない。行事の際にも子どもの見守りに必死になり、交流まで繋がっていないところもある。しかし、保護者の方が必死で子どもたちに向き合っていることが分かり、励まされている。 ・きょうだいへの支援というのがどれにあたるのか分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行っているおはなし会や行事等で、保護者同士の意見交換や情報共有ができるような時間を設定しています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	16	1	0		37	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 相談体制が整っており、迅速に対応してもらえるため助かっている。 ノートに書いた相談内容にもすぐに対応していただき、電話でもその都度丁寧に説明して下さっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事後などに実施する保護者アンケートのご意見を、運営や行事に取り入れています。また、その他の日常の中での質問や要望に対しては随時対応をおこなっています。何かありましたら、いつでもご相談ください。
	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	16	1	0		37	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳を活用できている。 よく気にかけて下さっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳や送迎時、電話にて情報伝達をしています。
	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	15	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に対しては連絡アプリを導入することで定期的に活動の様子や写真を送ったり、全体への伝達、個人への伝達にも柔軟に対応できるようになっています。 	38	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> イベントの写真などを定期的に連絡アプリで配信していただき嬉しく思う。配信頻度がもう少し多いとありがたい。 昨年度までのクラスだよりは継続してほしい。 プリントでの伝達、連絡アプリでの伝達の基準が分からない。プリントでの伝達の場合、締め切り前にリマインド配信してもらえると助かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 園での活動の様子を定期的に連絡アプリにて配信しています。 園からのおしらせについては、内容に応じて紙媒体とアプリに使い分けています。
	個人情報の取扱いに対する十分な対応	17	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 入園時に個人情報の取り扱いについての同意を取っており、情報提供の必要がある場合にはその都度、保護者に説明し、同意をいただいている。 	37	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> 特に困ったことはない。 	<ul style="list-style-type: none"> 園内での個人情報の管理には細心の注意を払っています。また公に個人の情報や写真を使用する場合、保護者に同意書を記入していただいたうえで取り扱うようにしています。
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	17	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 各種対応マニュアル(BCP)の作成をしている。職員はマニュアルを共通認識として支援に当たっています。 	37	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 運動会の後に引き渡し訓練もあり、災害時の対応についても手紙の配布などで統一が図られていた。 実際の災害時(電話の不通、道路の寸断等で迎えに行けないときなど)どう動けばよいか不安。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の対応についてマニュアルを作成し、周知しています。
	非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	17	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎月必ず避難訓練を実施しています。避難の想定状況は月替わりで火災、地震、津波時を想定しての避難を行っています。また避難訓練後には不審者対応訓練も行っています。 	41	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練を毎月行ってくださり、子どもがその様子を話してくれている。災害に対応できる環境は整えられていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、避難訓練計画や安全計画に基づき様々な状態を想定した訓練を実施しています。
	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	17	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 入園時に常時薬、熱性けいれん、てんかん発作の有無を確認しています。その際に対応マニュアルを作成し、個別の対応ができるようにしています。 						

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わかりな い		保護者の方のご意見
非常時等の 対応	4 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	17	0	0						
	5 安全管理の徹底	17	0	0	41	0	0	0	・避難訓練を毎月行ってくださり、子どもがその様子を話してくれている。 ・災害に対応できる環境は整えられていると思う。	・安全計画に基づいて、毎月の避難訓練を実施し、職員間の安全管理や危機管理についての意識を共有するようにしています。
	6 家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	16	1	0	39	2	0	0	・環境もよく考えてくださっていると思う。 ・園のセキュリティ面がやや不安。(外部から容易にアクセスできる環境であるため)	・園庭側にアコーディオンゲート等を設置して児童の安全管理の体制を強化しています。
	7 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	17	0	0						・ヒヤリハット並びに事故報告書等については発生日から3日間、朝礼、終礼での報告と職員室内の掲示板への掲示をおこなない全職員で周知しています。
	8 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	16	1	0						・毎年、虐待防止研修を実施しています。 ・毎月委員会にて、各部署の状況を報告しています。
9 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	16	1	0							